

会員拡大委員会 委員長方針

副理事長 内良 親正

委員長 千葉 尚正

宇治青年会議所は昨年度、メンバーの会員拡大に対する理解と高い意識を持って行動した結果、会員数は増加致しました。しかし、青年会議所の卒業制度を鑑みて前年度の結果に甘んずる事なく、さらなる会員拡大を実践しなければなりません。その為に、メンバー一人ひとりが積極的に青年会議所活動へ参画し、成功、失敗など様々な経験を積む事で成長し、メンバーが自分自身の言葉で熱意をもって宇治青年会議所の魅力を伝えられる事が必要です。

私は、メンバー一人ひとりの魅力が会員拡大に繋がると考えます。宇治青年会議所は、普段の生活では交わる事のない多種多様な職業、異なる考え方をを持ったメンバーが互いに切磋琢磨することによって個人の持つ魅力を増大させることが可能な素晴らしい組織だと確信しています。その為に、メンバー各々が活動を通して得た経験を発信し、共有する場を企画し会員拡大活動に活用できる様に取り組んで参ります。そうする事で、宇治青年会議所の魅力を感じ取って入会した新たな人材が組織にさらなる活力を与え、共に成長する事ができる熱い仲間となるよう繋げて参ります。

当委員会は会員拡大と同時にまちづくり事業の開催を担っています。昨年度、私は親子を対象にしたまちづくり事業に部会長として携わり、自分達で作りあげた事業で地域の子供達が笑顔になって頂いた事は強く心に響くものがありました。我々は自分たちの住むまちに誇りを持ち、活気に満ちたまちを次世代に繋げていく必要があります。しかし、現状の我々の住むまちは、急速に進む少子高齢化や地方における都市部への若者流出など様々な要因で地域が活気を失いつつあるのではないのでしょうか。

本年度、会員拡大委員会では、地域に住む子供達が夢と希望を持ち生き生きとした明るい笑顔になれるように力を尽くして参ります。まずは、近い将来において地域を牽引していく子供達自身が生まれ育ったまちを大切に思い、郷土愛を育む為に、宇治青年会議所の長い歴史の中で先輩方が築いてこられた活動を振り返り、そこから新たな取り組みへと発展させる可能性を研究し、行政・他団体との連携を図ると共に、より時代やニーズに即した事業を構築していきます。子供達の人間性を豊かに成長させて笑顔にする事で、人とひと、人と地域の繋がりを深め、活気に満ちたまちになると確信しています。

本年度、私はこれまでの活動によって培われた経験を最大限発揮し、率先して行動する事により、会員拡大委員会を牽引していく所存です。そして経験の浅いメンバーが多く所属する委員会の中で、委員会メンバー一人ひとりが新たな出会いに刺激を受け1年間の活動を通して自身の魅力を増大させ成長を感じる事の出来る委員会運営に努めると同時に、自分の思いや考え、言いたい事を言い合う事で互いに切磋琢磨し、溢れる若い力を結束して頼関係を築く事のできる、素晴らしい委員会にすべく1年間覚悟を持って活動に邁進して参ります。